

災害医療

災害医療支援部活動報告

名古屋第二赤十字病院
災害医療支援部 駒井 一洋

東日本大震災被災地への医療機器貸出支援を継続し、国内外の災害医療及び放射線被ばく医療などの災害医療支援への啓蒙活動を実施しました。詳細は以下の通りです。

- (1) 平成 25 年 3 月末時点で、ポータブル型 X 線装置+FCR システムと画像表示装置を貸出しております。
- (2) 平成 24 年学術総会において、医療機器貸出支援活動、放射線被ばく支援活動および災害医療アンケート報告を分科会活動として、駒井・森・坂井委員が報告しました。
- (3) 委員による災害医療支援に係る講演活動

1. 『3.11 日本の危機に私たちができたこと』

神戸赤十字病院 中田正明
平成 24 年 7 月 7 日（土） 於：江南厚生病院 講堂
愛知県厚生連放射線技師会

2. 『緊急被ばく医療 患者受け入れの実際』

唐津赤十字病院 坂井征一郎
平成 24 年 8 月 25 日（土） 於：安曇野赤十字病院
中部ブロック研修会

3. 『3.11 日本の危機に私たちができたこと～DMAT における診療放射線技師の役割～』

神戸赤十字病院 中田正明
平成 24 年 10 月 20 日（土） 於：仙台市産業・情報プラザ
東北ブロック研修会

4. 『災害医療における放射線技師の役割』

名古屋第二赤十字病院 駒井一洋
平成 25 年 1 月 26 日（土） 於：名古屋大学保健学科
日本放射線技術学会中部部会

災害医療支援部活動計画案

東日本大震災被災地への医療機器貸出支援を継続します。また、国内外の災害医療及び放射線被ばく医療などの災害医療支援の啓蒙活動を継続するとともに、災害医療支援体制づくりを目指します。

以上